

被災地の こどもたちに 寄り添う 支援とは

ー調査と実践から考える

主催:東北福祉大学 清水冬樹研究室

共催:金沢大学大学院 教職実践研究科

一般社団法人東日本大震災子ども・若者支援センター

東洋大学福祉社会開発研究センター



2025年6月27日（金）

18:00開場、18:30開始

金沢大学金沢駅前サテライト

（石川県金沢市広岡1丁目2番20号 Mビル）

駐車場のご用意はありませんが近郊に有料駐車所は多数あります。



災害時のこども支援に関心のある方は、どなたでもご参加いただけます（参加無料）。右のQRコードからお申し込みください。座席に限りがあるため事前申込制です。申込多数の場合、参加をお断りすることがあります。



報告者

清水 冬樹

（東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科）

こども期に東日本大震災で被災した経験がある若者へのインタビュー調査ならびに、令和6年度こども家庭庁「災害時のこどもの居場所実態調査」より、こども期に被災した若者へのアンケート調査結果の報告

中 智美

（東洋大学 人間科学総合研究所 客員研究員）

令和6年度こども家庭庁「災害時のこどもの居場所実態調査」より自治体および支援団体への調査結果の報告

小野 道子

（東洋大学 福祉社会デザイン学部／福祉社会開発研究センター）

令和6年度こども家庭庁「災害時のこどもの居場所実態調査」より「災害時のこどもの居場所づくりの手引き」の報告



モデレーター コメンテーター

鈴木 瞬

（金沢大学 准教授）

令和6年度こども家庭庁「災害時のこどもの居場所実態調査」調査協力者

足立 智昭

（一社東日本大震災子ども・若者支援センター代表理事）
令和6年度こども家庭庁「災害時のこどもの居場所実態調査」検討委員会委員長



お申し込みはこちらから

東日本大震災や2024年能登半島地震におけるこども支援の実際を踏まえながら、災害時におけるこどもの権利保障と支援のあり方について議論を深めることを目的とした意見交換会を開催します。特に、被災経験があるこどもたちを対象とした調査研究の成果をもとに、災害後の中長期的支援の課題や今後の実践の方向性について考える機会としていきます。

📞 問い合わせ先 東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科 清水冬樹研究室 022-301-1146 f-shimizu@tfu.ac.jp

本意見交換会は、JSPS科研費 JP24K05451、ならびにこども家庭庁令和6年度子ども子育て支援等推進調査研究事業課題6「災害時のこどもの居場所実態調査」（研究代表者：小野道子東洋大学福祉社会デザイン学部准教授）の助成を受けて実施した研究結果の一部です。開示すべきCOIはありません。